

札幌リハビリテーション専門学校

学校関係者評価報告書

(令和2年)

学校法人西野学園

札幌リハビリテーション専門学校

学校関係者評価について（報告）

本校におきましては、「職業実践専門課程」の充実を目指し、平成24年度から、教職員による「自己評価」を実施し、平成26年度から、「自己評価」結果を踏まえた「学校関係者評価」を実施しています。

「職業実践専門課程」としての充実を図る「学校関係者評価」の実施にあたっては、本校の卒業生や関係企業等の方々からなる学校関係者評価委員会を組織し、会議を開催し、本校の「自己評価」結果をもとに、多様な観点から、多くの貴重なご意見・ご要望をいただいております。

本校といたしましては、学校関係者評価委員会で評価して頂いた結果に対して、速やかに改善策を構築し、広く社会のニーズに適した学校運営や教育課程の編成を組織的・継続的に取り組んでいく所存でありますとともに、その概要について本学園のホームページ上に公開し、今後ともより良い学校運営、教育活動を目指し、学校関係者の方々との連携・協力をはかり、教職員一同尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「令和元年度学校関係者評価」につきまして、以下の通り報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員 名簿

氏名	所属
梶山 優洋	元北海道千歳高等学校校長
杉原 俊一	医療法人秀友会 札幌秀友会病院 公益社団法人 北海道理学療法士会 常任理事
吉岡 英章	医療法人社団憲仁会 牧田病院 公益社団法人 北海道作業療法士会 副会長
佐藤 喜亮	社会医療法人社団三草会 クラーク病院
高松 尚徳	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院

2 学校関係者評価委員会開催日時

第1回 令和2年7月 9日（木） 15：00～16：30

第2回 令和2年9月24日（木） 15：00～16：30

（第3回は令和3年2月ごろを予定）

3 今年度の学校関係者評価実施の流れ

令和2年4月 令和元年度の教育活動等に関する「自己評価」を実施

“ 6月 令和2年度第1回学校関係者評価委員会を開催し、「自己評価」に基づく「学校関係者評価」を実施

“ 9月 令和2年度第2回学校関係者評価委員会を開催し、「学校関係者評価」の内容を確定

“ 10月 「令和元年度学校関係者評価」をHPに公開

令和元年度 自己点検評価項目		平成29年度 自己評価 (平均)	平成30年度 自己評価 (平均)	令和元年度 自己評価 (平均)	学校関係者評価委員会による評価
I 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材像は定められているか。	4.4	4.3	4.7	・人材育成のための「3つのポリシー」、N's 委員会による改善など、様々な場面でその具体的な成果が公表されていて評価できる。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学園の将来構想を抱いているか。	3.9	3.8	4.5	
	3 理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	3.9	3.9	4.3	
II 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	4.1	3.8	4.5	・運営方針・組織は明確で、学園本部と各施設間との機能的な連携の整備も進み、HPからも学園ネットの協働体制が覗かれ評価に値する。各施設の効果的な取り組みも以前より可視化されており、学校運営の改善が着実に進んでいる。今後も積極的な情報公開や情報システムの効率化を推進されたい。
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	3.5	3.5	4.0	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3.2	3.0	3.8	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.4	3.5	4.0	
III 教育活動	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.3	4.2	4.5	・国試合格率はこの4年間平均で両科とも90%を超えており、行き届いた教育指導の成果と評価できる。もちろん結果のみに一喜一憂することなく、さらに高みを目指して学力の向上・安定や国試対策の充実を図ってほしい。 ・教員の研修については、改善傾向にあるが、まだ自己評価点は低く、さらに教員のニーズを探って適切に対応してほしい。
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.5	4.3	4.7	
	11 授業規律を確保し、統一した指導体制のもとで教育活動が行われているか。	3.8	3.8	4.4	
	12 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の編成や点検等が行われているか。	4.3	4.2	4.5	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	4.2	3.8	4.5	
	14 授業評価の実施等、評価体制があるか。	4.2	4.0	4.5	
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか。	3.4	3.6	3.9	
IV 学修成果	17 就職率の向上は図られているか。	4.4	4.5	4.6	・休退学者は低減傾向にあり、学生への丁寧な個別対応等の努力は評価できる。 ・西野学園同窓会（西桜会）の発足・充実は好ましいことであり、卒業生の社会的な活動が実技授業やOSCEへの参加により、在校生の学習に生かされているなどの工夫は評価できる。 ・就職率の向上は図られてきたが、コロナ禍による影響が厳しいため、学園全体で努力してほしい。
	18 退学率の低減は図られているか。	4.3	3.7	4.4	
	19 卒業生・在校生の社会的な活動を把握し、評価しているか。	3.8	3.8	4.2	
V 学生支援	20 学生相談に関する体制は活用されているか。	4.2	4.2	4.5	・学生支援は、学生サポートセンターが機能しており充実している。 ・学園同窓会の充実により、卒業生の支援体制が整うことを期待する。 ・学園4施設の求人ネットワークに加え、職業観・勤労観の育成やソーシャル・スキル教育も成果を上げている。
	21 学生の経済的支援体制は整備されているか。	4.6	4.1	4.5	
	22 保護者と適切に連携しているか。	4.4	4.4	4.4	
	23 卒業生への支援体制は整備されているか。	4.2	4.0	3.8	
	24 ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観・勤労観の育成に努めているか。	4.5	4.2	4.6	
	25 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.5	3.4	4.3	
VI 教育環境	27 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2.9	3.1	3.5	・老朽化には適時点検・補修を進めて対応すると共に、図書室の整備やICTの活用による情報検索や授業形態の開発等、さらに工夫する必要がある。 ・防災に関しては、EDCの充実により学生の自己意識の高まりも期待したい。
	28 図書室利用の活性化が図られているか。	3.3	2.5	2.8	
	29 防災に対する体制は整備されているか。	4.2	3.4	4.1	
VII 学生募集	30 学生の募集は適正に行われているか。	4.1	4.0	4.3	・総合型選抜入試制度導入による成果や、学生募集への高校訪問、啓発活動など評価できる。なお、A0入試と一般入試の入学後の追跡調査による結果分析も必要であろう。
	31 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.8	3.7	4.4	
VIII 財務	32 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	3.1	3.3	3.9	・財務状況は適切で安定している。今後も安定性維持のための工夫と努力を続けられたい。
	33 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.2	2.7	3.5	
IX 法令等の遵守	34 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.8	4.2	4.5	・法令遵守は教員の意識改革が進み、適切な状況となっている。
	35 個人情報の保護のための対策がとられているか。	3.9	3.8	4.3	
X 社会貢献等	36 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4.2	3.6	3.9	・ボランティア活動、地域と連携した取り組みは、コロナ禍の下で困難を伴うが、本校の誇るべきポイントであり、状況に応じ可能な範囲で社会貢献を進めてほしい。
	37 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.8	4.4	4.5	

評価基準 適切-5 ほぼ適切-4 やや適切-3 不適切-2 わからない-1